



特色ある読書推進活動の紹介



令和5年2月15日発行 福島県教育庁県北教育事務所

岩代図書館ボランティアおはなしタンポポ

訪問日：令和5年1月21日（土）10：00～12：00

場 所：二本松市立岩代図書館

内 容：幼児や小学生のいる家族を対象とした読み聞かせ活動



活動を継続して30年！

「おはなしタンポポ」は、「読書活動をととして、子どもの豊かな情操の育成に貢献する」ことを目的とし、岩代図書館のオープンとほぼ同時期から活動を継続しているボランティア団体です。「気負わず、ゆるく、細く長く・・・一人一人が楽しんで活動する」をモットーに各自のペースで活動することで、30年近く活動を継続してきたそうです。

おはなし会は、月に1回約1時間程度、第3土曜日に開催しています。内容は、アイスブレイクのゲーム、読み聞かせ、作ってあそぼうの3部構成とし、参加者が飽きないように工夫しながら活動を行っています。

今日のおはなし会は・・・



【受付で出席カードを提出】



【記念品の贈呈】

おはなし会は、各回10組限定（先着申込順）で開催されます。

受付で出席カードを提出するとシールがもらえ、5枚たまとタンポポさんから記念品が贈呈されます。

緊張気味に会場に入ってくる参加者が、リラックスしておはなし会を楽しめるような親子で簡単にできる体操とじゃんけんゲームを行いました。子ども達はスタッフに勝つたびに大喜びし、大きな歓声が会場に響いていました。



【体を動かしてリラックス】



【子ども司書(岩代中学生徒)による読み聞かせ】

絵本の読み聞かせは、岩代中学校の生徒が行いました。「十二支のおはなし」の絵本を子どもたちに内容が伝わるように、声の大きさや読む速さに気を付けながら読み聞かせを行っていました。絵本の読み聞かせを行った中学生は、二本松市の子ども司書講座において読み聞かせの仕方などの研修を受け、子ども読書推進リーダーとして「図書館まつり」等、各種イベントでも大活躍しています。

絵本の読み聞かせの後には、楽しい工作タイムです。今日の工作は、紙コップと輪ゴムを使った「うさぎロケット」の製作でした。難しいところはスタッフが手伝い、素敵なうさぎロケットを完成させました。ロケットを上手に飛ばすのは、少し難しいようでしたが、うまく飛ばせた時は、子ども達の笑顔でいっぱいになりました。



【工作タイム】

地域に伝わる昔話を後世に伝えます

おはなしタンポポの皆さんは、未来の子ども達に地域に伝わる昔話を残したいと、再話活動をしています。聞き取った話を大型紙芝居やパネルシアターにして、読み聞かせ会や市内の読書イベント等で発表しています。

また、「岩代の昔話」という冊子にまとめ、幼稚園や小・中学校へ寄付をするなど地域の文化を大切に活動をしています。



【岩代の昔話】